

第4章 1 教育課程表

令和4年度（2022年度）入学

学 科		普 通 科												
入 学 年 度		令 和 4 年 度 入 学												
令和4年度(2022年度)現在の学年(○印)		Ⅰ	Ⅱ				Ⅲ				計			
教科	科目	全	文	理	AS	文	理1	理2	AS	文	理1	理2	AS	
		標準単位												
国 語	現代の国語	2	2							2	2	2	2	
	言語文化	2	3							3	3	3	3	
	論理国語	4		3	2	2	3	2	2	6	4	4	4	
	文学国語	4												
	国語表現	4												
地 理	地理総合	2	2	2	2					2	2	2	2	
	地理探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	歴史総合	2	2	2	2					2	2	2	2	
	日本史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
	世界史探究	3				5	4	4	4	0.5	0.4	0.4	0.4	
公 民	公 共	2	2							2	2	2	2	
	倫 理	2												
	政治・経済	2	2							2				
数 学	※実践政治・経済	3				3				3				
	数 学 I	3	2							2	2	2	2	
	数 学 II	4	1	3	2	2				4	3	3	3	
	数 学 III	3			1	1		4	4	5	1	5	5	
	数 学 A	2	2							2	2	2	2	
	数 学 B	2		1	1	1	3	1	1	4	2	2	2	
	数 学 C	2		1	1	1		1	1	1	2	2	2	
	※実践数学A	5						5				5		
	※実践数学B	2				2				0.2				
理 科	科学と人間生活	2												
	物理基礎	2		2	2						0.2	0.2	0.2	
	物理	4		1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5		
	化学基礎	2		2	2					2	2	2		
	化学	4		2	1		4	4	4	6	6	5		
	生物基礎	2	1	2	2	2				3	0.2	0.2	0.2	
	生物	4		1	1		4	4	4	0.5	0.5	0.5		
	地学基礎	2	1			2				3				
体 育	体 育	7~8	3	3	3	3	2	2	2	8	8	8	8	
	保 健	2	1	1	1					2	2	2	2	
芸 術	音 楽 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	音 楽 II	2		2						0.2				
	音 楽 III	2												
	美 術 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	美 術 II	2		2						0.2				
	美 術 III	2												
	書 道 I	2	2							0.2	0.2	0.2	0.2	
	書 道 II	2		2						0.2				
	書 道 III	2												
	※音楽表現	2				2				0.2				
※美術表現	2				2				0.2					
※書道表現	2				2				0.2					
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3							3	3	3	3	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4					4	4	4	4	
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	4	4	4	4	4	4	
	論理・表現Ⅰ	2	2							2	2	2	2	
	論理・表現Ⅱ	2		2	2	2				2	2	2	2	
家 庭	論理・表現Ⅲ	2				2	2	2	2	2	2	2	2	
	家 庭 基 礎	2	2							2	2	2	2	
情 報	家 庭 総 合	4												
	情 報 I	2	1							1	1	1	1	
※社会人	情 報 II	2												
	※社 会 人					2				0.2				
※SSH	※数科学探究Ⅰ	1		1	1					1	1	1	1	
	※数科学探究Ⅱ	1				1			1	1	1	1		
	※総合理科	4	4							4	4	4	4	
	※天草サイエンスⅠ	2	2							2	2	2	2	
	※天草サイエンスⅡ	2			2								2	
	※天草サイエンスⅢ	1							1				1	
	※天草探究Ⅰ	1		1	1					1	1	1	1	
※天草探究Ⅱ	1				1	1	1	1	1	1	1	1		
各学科共通教科計			32	32	32	32	32	32	32	96	96	96	96	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	
総探		3~6												
合 計			33	33	33	33	33	33	33	99	99	99	99	

※は学校設定教科・科目
 ・1年次の数学は「数学Ⅰ」を履修した後に「数学Ⅱ」を履修する。
 ・2年次理系およびASコースの数学は「数学Ⅱ」を履修した後に「数学Ⅲ」を履修する。
 ・1年次の「科学と人間生活」2単位は「総合理科」4単位で代替する。
 ・2年次理系の理科は「化学基礎」を履修した後に「化学」を履修する。また「物理基礎」「生物基礎」を選択履修した後に「物理」「生物」を選択履修する。
 ・1年次の「情報Ⅰ」1単位および「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスⅠ」2単位で代替する。
 ・2年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスⅡ」2単位で代替する。
 ・3年次ASコースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草サイエンスⅢ」1単位で代替する。
 ・2年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究Ⅰ」1単位で代替する。
 ・3年次文系・理系コースの「総合的な探究の時間」1単位は「天草探究Ⅱ」1単位で代替する。

令和3年度(2021年度)入学

令和4年度(2022年度)教育課程表		令和3年度(2021年度)入学										計		
入学生数		Ⅰ					Ⅱ					計		
教科	科目	全	文	理	AS	理1	文	理	AS	理1	文	理2	AS	理2
国語	国語総合	4												
	国語表現	3												
	現代文A	2												
	現代文B	4												
地理歴史	世界史A	2												
	世界史B	4												
	日本史A	2												
	日本史B	4												
公民	現代社会	2												
	政治・経済	2												
	数学Ⅰ	3												
	数学Ⅱ	4												
数学	数学Ⅲ	5												
	数学A	2												
	数学B	2												
	数学活用	2												
理科	※東洋数学A	5												
	※東洋数学B	2												
	科学と人間生活	2												
	物理基礎	2												
理	物理基礎	4												
	化学基礎	2												
	生物基礎	4												
	生物基礎	2												
体育保健	体育	7-8												
	保健	2												
	音楽Ⅰ	2												
	音楽Ⅱ	2												
芸術	美術Ⅰ	2												
	美術Ⅱ	2												
	音楽Ⅰ	2												
	音楽Ⅱ	2												
情報	書道Ⅰ	2												
	書道Ⅱ	2												
	書道Ⅲ	2												
	書道Ⅳ	2												
外国語	英語表現Ⅰ	2												
	英語表現Ⅱ	2												
	英語表現Ⅲ	2												
	英語表現Ⅳ	2												
家庭	家庭基礎	2												
	家庭総合	4												
	生活サイエンス	4												
	社会と情報	4												
情報	※天草サイエンスⅠ	2												
	※天草サイエンスⅡ	2												
	※天草サイエンスⅢ	1												
	※天草サイエンスⅣ	1												
特別活動	※天草サイエンスⅠ	1												
	※天草サイエンスⅡ	1												
	※天草サイエンスⅢ	1												
	※天草サイエンスⅣ	1												
特別活動	3-6													
合計	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

令和2年度(2020年度)入学

令和4年度(2022年度)教育課程表		令和2年度(2020年度)入学										計		
入学生数		Ⅰ					Ⅱ					計		
教科	科目	全	文	理	AS	理1	文	理	AS	理1	文	理2	AS	理2
国語	国語総合	4												
	国語表現	3												
	現代文A	2												
	現代文B	4												
地理歴史	世界史A	2												
	世界史B	4												
	日本史A	2												
	日本史B	4												
公民	現代社会	2												
	政治・経済	2												
	数学Ⅰ	3												
	数学Ⅱ	4												
数学	数学Ⅲ	5												
	数学A	2												
	数学B	2												
	数学活用	2												
理科	※東洋数学A	5												
	※東洋数学B	2												
	科学と人間生活	2												
	物理基礎	2												
理	物理基礎	4												
	化学基礎	2												
	生物基礎	4												
	生物基礎	2												
体育保健	体育	7-8												
	保健	2												
	音楽Ⅰ	2												
	音楽Ⅱ	2												
芸術	美術Ⅰ	2												
	美術Ⅱ	2												
	音楽Ⅰ	2												
	音楽Ⅱ	2												
情報	書道Ⅰ	2												
	書道Ⅱ	2												
	書道Ⅲ	2												
	書道Ⅳ	2												
外国語	英語表現Ⅰ	2												
	英語表現Ⅱ	2												
	英語表現Ⅲ	2												
	英語表現Ⅳ	2												
家庭	家庭基礎	2												
	家庭総合	4												
	生活サイエンス	4												
	社会と情報	4												
情報	※天草サイエンスⅠ	2												
	※天草サイエンスⅡ	2												
	※天草サイエンスⅢ	1												
	※天草サイエンスⅣ	1												
特別活動	※天草サイエンスⅠ	1												
	※天草サイエンスⅡ	1												
	※天草サイエンスⅢ	1												
	※天草サイエンスⅣ	1												
特別活動	3-6													
合計	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33

第4章2 第1回運営指導委員会議事録

※議事録中の太字は運営指導委員による発言内容

第1回運営指導委員会 議事録

- 1 期日：令和4年9月6日(火) 13:30～15:30
- 2 場所：熊本県立天草高等学校 視聴覚室
- 3 出席者 運営指導委員9名、熊本県教育庁関職員
天草高校関係職員

4 議事

【開会：県教育委員会・指定校校長挨拶】

【SSH研究部主任挨拶】※進行 渡邊委員長

田丸 女性の理系意識が高まっているということだが、何か理由はあるのか。

宮崎 ASの取り組みの影響と、ASクラスに入った女子が多かったことが、医療系以外の、女子の工学系の進学につながったと考えている。

市川 13の探求場面の設定の経緯を教えてほしい。

宮崎 もともと13の力だったものを5つの力に集約して、それらを13を場面に細分化した。

平井 5つの力の1つである想像する力について、地域を想像するとは具体的にどういうことか。

宮崎 例えば、科学部の生徒が5年間研究を継続して、海水準の上昇に対応するためにアマモを植えるという提案を環境シンポジウムで行った。持続可能な地域を想像し、そのための施策を提案という形。

渡邊 A. B. C. D. Eの5つの力について、Cに考察結論を導くという項目があるのが気になる。探求の場合は分からないことがあったり、新たな課題が生まれたりする。結論を導くことが1つの到達目標のようにならないようにしてほしい。

市川 5つの力を評価するに当たり、具体的な数値目標を設定した方が、ブレがないという考え方があると思う。

宮崎 ペーパーテストをする等の考え方もある。

橘 外部評価がいいのではないかと。

渡邊 問いを立てる力というのは難しい。何を問うべきかを考え、課題として成立させることが重要。まずは5つの力を読み解く必要がある。

市川 読み解く力では、自分たちだけでなく、他の班の研究について理解できるかどうかも大切ではないか。

渡邊 授業冒頭のディスカッションが非常に有効であったと説明があったがどういうことか。

宮崎 ディスカッションについては、先生と生徒による対話であると理解している。こちらが具体的指示をするのではなく、生徒に考えさせる発問をする。

渡邊 この5つの力は独立してばらばらなものではなくてリンクし合うと考える。

渡邊 情報分析について、理科系の数値だけでなく、文系の生徒も参加する天草探求の視点ではどうか。

宮崎 ICT、実地調査、アンケート等がある。

渡邊 目的があつての評価である。

平井 探求という学習に、数値的な評価がなじむのか。

田丸 5つの力については、一つ一つ区分するのではなく流れで見えていくべき。それぞれの項目はリンクしてい

るから、自分たちの研究がまとまったストーリーになっているかどうかという形で評価してもいい。

渡邊 探求にはプロセスが重要だが、課題によっては文脈が異なっていて評価基準にそれぞれの場面が等しく入るとは限らないケースも出てくるのではないかと。

宮崎 AS I. II. IIIに関しては重点評価項目があるので大丈夫。天草探求がテーマが広いと、難しい点も。

渡邊 根拠のある仮説と、根拠のない仮説があり、それらと同じループリックで評価できないのではないかと。

渥美 この評価はデンソーの時の部長の昇進試験のアセスメントと非常によく似てる。資料を読んで課題を発見し、その解決方法を外部にアピールする。

渡邊 純粋なサイエンスではなく、アプローチの評価。

渥美 最近生徒の質問回数が増えている印象。問いを立てる、情報収集する能力といった能力は備わっているのではないかと。

宮崎 年々質問は増えている来ている。ここまでの流れを振り返ると、5つの力はそれぞれ連動しており、また、5つの力に対して深く読み込んでいくことが必要であるという意見が出た。

平井 情報収集する力については、対話する力の質問するという項目も情報収集に大事なことではないか。地元の人へのインタビューなど、数値以外のいろんな情報収集も評価してほしい。

渡邊 数値データ以外の情報収集についても評価できるように変えていくべき。2つめの審議題として「生徒の研究成果を社会に還元する方法」があるが、具体的にどのような方法があるか。

宮崎 これまでの取り組みとしては、ホームページでの発信がある。自分たちの研究が社会に還元できたということを実践する場について他に案はあるか。

田丸 天草サイエンスアカデミーで、教えること自体にサイエンティフィックな喜びを感じ、そこから教育に興味を持つ子も出ているのでは。天草サイエンスアカデミー自体が研究テーマとなり、地元の子もたちにサイエンスに興味を持たせ、未来の理系の若者を育てていく教育者のスタート地点になっているという形で地元に貢献しているのではないかと。

渡邊 天草高校サイエンスを通じて生徒の探求を子供達の探求に移し替えてアドバイスする等がある。

渥美 天草高校出身のOB会に、ASの活動について紹介すると社会への還元になるのではないかと。また、天草高校のオープンキャンパスを中学生向けにASの生徒中心にやれば社会還元になるのではないかと。

宮崎 ケーブルテレビに、科学部がシンガポール行ったとき30分番組を作っていただいた。そのような取り組みもいいと思う。

渡邊 オンラインでのやり取りは、大学の教授だと緊張するから、天草高校出身の学生の先輩とのやり取りがいいのではと思う。

田丸 最後に英語を使う力についてだが、英語のマニュアルを無理やり読ませるのはどうかと思う。最初は単語レベルでいいのではないかと。

【開会：指定校校長・県教育委員会挨拶】



令和4年(2022年)
7月17日(日)
熊本日日新聞

SSH指定の天草高校生
テーマ多彩 研究発表

文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された天草高(天草市)の生徒らが12日、市民センターで課題研究の成果を発表した。

3年生の5班が登壇し、スクリーンに写真やグラフを映して2年時から取り組んだ研究の過程や結果を報告。CO₂を吸収し魚のすみかとしても重要な海草アマモの種子の発芽率向上をテ

ーマにした班は、市内の異なる海で採取した土で実験。水温を7度に冷やした時に発芽率が向上したことや、土によって向上の条件が異なることを発表した。

天草・長崎間に架橋する場合の橋の形状、天草陶石の活用に関する研究もあった。ポスターセッションでは2、3年生の53班が環境教育、健康など幅広い内容を取り上げた。(平井智子)

令和4年(2022年)
12月24日(土)

天草高科学部が次世代賞

SDGsアワードアマモ研究評価

同アワードでは、STTI(科学技術イノベーション)を用いて社会課題の解決を目指す地域活動を表彰している。SDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献する狙いもある。全国から30件の応募があり、11月に表彰式があった。次世代賞は2019年度に続き、2回目の受賞となる。

今回の取り組みでは、魚のふんを肥料にしたり、枯れたアマモを原料にバイオ燃料を精製したりするアイデアを生みだし、新しい着眼点を加え続ける活動と評価された。「天草ブルーカーボンニュートラル構想」と名づけて研究を続けており、自治体や地域企業など

県立天草高(天草市)の科学部アマモ班が、国立研究開発法人科学技術振興機構の「STTI for SDGs」アワードで次世代賞を受賞した。海洋環境の保全や温室効果ガスの削減に役立つ海草のアマモで様々な研究を続けており、部員たちは「受賞を励みに活動や研究を続けていきたい」と喜んでいる。(浜村勇)

アマモの水槽前で受賞を喜ぶアマモ班の4人

今後は、廃校のプールを活用した魚のふんの肥料開発やアマモ育成、アマモを使ったバイオ燃料の精製などに企業とも連携して取り組みたいという。同部顧問の宮崎一教諭(44)は「データを蓄積しながら、社会に役立つものにしてほしい」と話す。